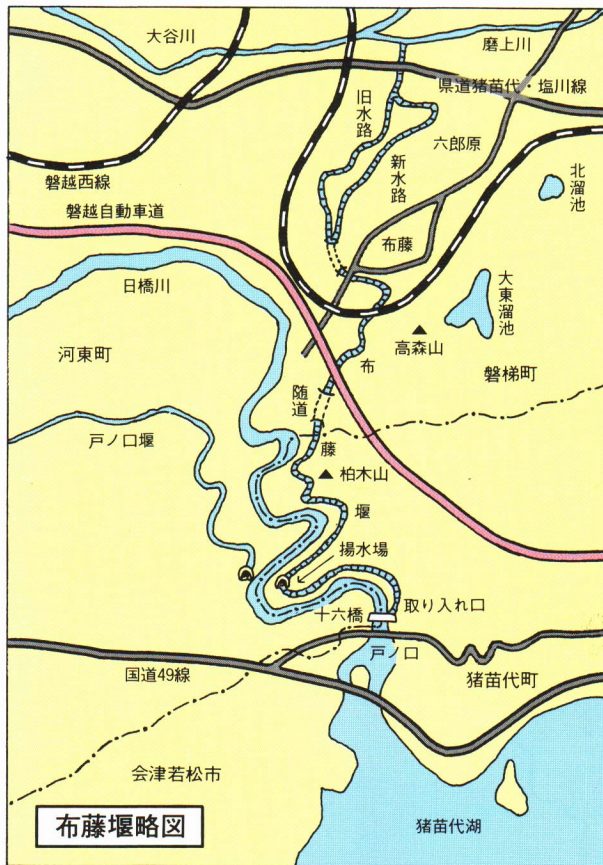


1706年（宝永3年），会津藩の命令によって布藤せきの工事が3年間にわたって行われました。

このせきは、取り入れ口より大谷川まで約8 kmあって、かたむきのゆるいところを引かなければなりませんでした。

今のように発達した測量技術そくりようぎじゆつや測量器のない時代に、人々はどんな道具を使って測量し、水がうまく流れるようにしたのでしょうか。



ふとうせき  
布藤堰の取り入れ口

